

社会資本整備審議会 道路分科会
令和3年度 第3回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：令和4年3月10日（木） 10：00～11：40

2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階 災害対策室（WEB）

3. 出席者

〔委員長〕

渡邊 法美 高知工科大学経済・マネジメント学群 教授

〔委員〕 ※五十音順

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授

三好 俊作 四国経済連合会 専務理事

山中 英生 徳島大学理工学部長 社会基盤デザイン系 教授

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び新規事業採択時評価について

(2) 令和4年度 新規事業候補箇所について

(3) 費用便益の対象区間について

(4) 新規事業採択時評価（令和4年度 新規事業候補箇所）

- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）
- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）
- ・一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）

5. 審議結果

一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）、一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）及び一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）の新規事業化は妥当である。

6. 主な意見

【一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）】

【一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）】

- ・南海トラフ地震への備えや近年の豪雨災害による影響を踏まえ、四国8の字ネットワークの一部を構成する当該区間を事業化し、早期整備を行うべき。また、未事業化区間も繋げていくことが大事。
- ・防災機能評価の結果については、わかりやすく伝えるための工夫をすること。
- ・美しい景観が損なわれぬよう、地元住民へ配慮するなど、設計の工夫を行うこと。
- ・地域へのヒアリングでも、防災や医療に関する不安の声が多く、これらを指標化することは重要。
- ・防災面だけでなく、空港アクセスや関西圏へのアクセスなど、産業や観光への効果も期待している。

【一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）】

- ・ネットワークB/Cが1をわずかに超える程度だが、四国8の字ネットワークの一部を構成する当該区間の事業化は、防災面でも意義があることに加え大規模災害時の避難・救援など貨幣換算されていない効果もあることから、早期整備を行うべき。また、未事業化区間も繋げていくことが大事。
- ・道路には3便益では計られない役割があり、今回、防災上の効果等が貨幣換算されたことは、道路の多様な効果を定量化する上で重要。
- ・南海トラフ地震等災害時の避難・救援ルートが確保されることによる安全・安心など防災上の効果等を貨幣換算することについては、引き続き検討をお願いしたい。
- ・便益が費用を上回ることが事業化の要件だが、一定の仮定に基づく推計値であるB/Cが1を下回ると事業化が出来ない現行の運用の見直しをお願いしたい。なお、見直しを行う際は、社会情勢を踏まえ、現行の3便益についてもしっかりと精査をお願いしたい。